

問1 東北地方では、各県の気候や地形条件を活かして特定の農産物を重点的に生産する農業が盛んです。青森県のりんご、山形県のさくらんぼ、福島県の桃などの生産がその代表例ですが、このような農業の特色について述べた説明として正しいものはどれですか。（2020年 福島県公立入試 類似）

1. 各県が特定の果樹を重点的に栽培することで、県全体の農産物栽培面積においても大きな割合を占めている。
2. 冷害の影響を避けるために、東北全域の農地において米から麦類への転換が一齐に進められた。
3. すべての県が同じ種類の野菜を均等に生産することで、東北地方全体での市場価格の安定を図っている。
4. 広大な平野部を利用し、果樹よりも稲作の面積割合をすべての県で一律に高める政策がとられている。

問2 東北地方の太平洋側では、特定の気象条件によって農作物の収穫量が大きく減少する「冷害」が発生することがあります。この冷害が起こる仕組みと直接的な影響について説明したものとして、最も適切なものを選んでください。（2026年 栃木公立入試 類似）

1. 太平洋から吹き込む冷たく湿った北東の風により、気温の低下や日照不足が続くことで、稲などの成長が妨げられる。
2. 日本海側から山を越えて吹き下ろす高温で乾燥した風により、農地が乾燥し、作物の水分が奪われて枯れてしまう。
3. 赤道付近から北上する暖かく湿った空気の影響で、記録的な大雨が長時間降り続き、農地が浸水被害を受ける。
4. シベリア高気圧から吹き出す冷たく乾燥した北西の風により、激しい吹雪が発生し、冬の農作物が凍結してしまう。

問3 東北地方最大の人口を抱え、東北新幹線の拠点として、秋田新幹線や山形新幹線などが結ばれている交通の要所となる都市を答えなさい。（2015年 大分県公立入試 類似）

1. 仙台市
2. 盛岡市
3. 福島市
4. 青森市

問4 東北地方では、南部鉄器や津軽塗、天童将棋駒といった伝統的工芸品の生産が古くから盛んです。このように、東北地方の積雪地帯において手工業が発展した背景として、地域の気候と農業の関係から説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2017年 岡山公立入試 類似）

1. 雪の影響で屋外での農業ができない冬の農閑期に、家の中で行う副業として発展した。
2. 夏の高温多湿な気候を避けるため、冷涼な時期に集中的に工業製品を生産した。
3. 大規模な稲作の収穫期に、農業と並行して効率的に輸出用の製品を生産した。
4. 冬の積雪を原材料の冷却や加工に利用するため、商業的な目的で工場が集まった。

問5 東北地方の農業に関する説明として、青森県の地理的条件と産業の関係を正しく述べたものはどれですか。（2023年 静岡公立入試 類似）

1. 冷涼な気候を活かしたリンゴの栽培が非常に盛んであり、その生産量は日本一である。
2. 夏の温暖な気候を活かして、サクラソビの生産において全国の過半数を占めている。
3. 阿武隈川流域の広大な平野を利用して、日本最大級の施設園芸農業が行われている。
4. 北上山地の緩やかな斜面を利用して、乳用牛の飼育が全国で最も盛んに行われている。

問6 夏の東北地方において、オホーツク海高気圧から太平洋側に吹き込み、奥羽山脈の東側で気温が上がらなくなる原因となる冷たく湿った風を何といいますか。（2020年 北海道公立入試 類似）

1. やませ
2. からっ風
3. フェーン現象
4. モンスーン

問7 東北地方の宮城県に位置し、同地方の経済や行政の中心的な役割を担っている都市があります。毎年8月に行われる伝統的な「七夕まつり」でも全国的に知られるこの都市を何と呼びますか。（2021年 千葉県公立入試 類似）

1. 仙台市
2. 山形市
3. 盛岡市
4. 福島市

問8 ある県の産業統計において、人口密度が1平方キロメートルあたり約90人と低く、農業産出額（約1,732億円）のうち米の占める割合が約61%と極めて高いというデータがあります。この県で生産されている「あきたこまち」のような、産地や品質を保証して販売される米の名称を何といいますか。（2015年 千葉県公立入試 類似）

1. 銘柄米
2. 伝統野菜
3. 近郊農業
4. 抑制栽培

問9 東北地方にある3つの地点の気象統計を比較したところ、地点Xは冬の降水量（降雪）が多く、地点Yは夏から秋にかけて降水量のピークがあり、地点Zは年間の総降水量が約1358mmと、他の2地点に比べて少なくなっていました。このうち、奥羽山脈などの山々に囲まれた「内陸部」の気候的特徴を示している地点はどれですか。（2024年 宮城県公立入試 類似）

1. 地点Z
2. 地点Y
3. 地点X
4. いずれの地点も該当しない

答え合わせ・解説

問1	答え 1 各県が特定の果樹を重点的に栽培することで、県全体の農産物栽培面積においても大きな割合を占めている。	東北地方の農業は「米どころ」として知られる稲作だけでなく、果樹栽培も非常に盛んです。特に青森県、山形県、福島県では、それぞれの地域の環境に適した特定の果樹（りんご、さくらんぼ、桃など）を重点的に生産することでブランド化を図っており、それぞれの県の農産物栽培面積において、それら果樹が占める割合が他の県に比べて高いというデータ上の特徴が見られます。
問2	答え 1 太平洋から吹き込む冷たく湿った北東の風により、気温の低下や日照不足が続くことで、稲などの成長が妨げられる。	冷害の主な原因は、初夏から夏にかけて吹く「やませ」です。この北東の風が長期間吹き続けると、太平洋側の地域を中心に気温が平年より大幅に低くなり、さらに濃霧によって太陽の光が遮られます。その結果、稲などの農作物が十分に育たなくなり、収穫量に深刻な打撃を与えます。これに対し、山を越えて吹く高温乾燥の風はフェーン現象と呼ばれ、冷害とは逆の現象です。
問3	答え 1 仙台市	東北地方唯一の政令指定都市であり、行政や経済の機能が集中する地方中枢都市としての役割を担っています。広域的な交通網の結節点となっており、東北地方の各都市だけでなく、東京などの関東地方とも密接に結びついています。
問4	答え 1 雪の影響で屋外での農業ができない冬の農閑期に、家の中で行う副業として発展した。	東北地方などの積雪地帯では、冬の間は雪が降り積もるため、屋外での農作業を行うことが困難になります。この農業ができない時期を「農閑期（のうかんき）」と呼び、農家の人々が家の中でできる漆器や鉄器づくり、将棋駒の製作などを「副業」として行ったことが、伝統的工芸品が発展する大きな要因となりました。
問5	答え 1 冷涼な気候を活かしたリンゴの栽培が非常に盛んであり、その生産量は日本一である。	青森県は東北地方の北部に位置するため、夏でも比較的涼しい気候が続きます。この気候はリンゴの栽培に適しており、弘前市を中心とした津軽平野などで大規模な生産が行われています。サクランボは山形県、阿武隈川は福島県から宮城県にかけて、北上山地は岩手県に位置する地理的特徴です。
問6	答え 1 やませ	この風は北東の海から吹き込み、冷たく湿った空気を運んできます。東北地方を南北に走る奥羽山脈に遮られることで太平洋側の地域に留まりやすく、夏でも気温が上がらない原因となります。冬に関東地方などで吹く「からっ風」や、山を越えた風が高温になる「フェーン現象」とは異なる特徴を持ちます。
問7	答え 1 仙台市	宮城県の県庁所在地である仙台市は、東北地方において政治・経済・文化のあらゆる面で中心的な役割を果たす都市です。江戸時代に伊達政宗によって城下町として整備された歴史を持ち、現代では「杜の都」とも呼ばれます。夏に開催される「仙台七夕まつり」は、東北を代表する大規模な祭りとして有名です。
問8	答え 1 銘柄米	秋田県に代表される東北地方の日本海側では、冬の降雪がもたらす豊かな水資源を活かした稲作が非常に盛んです。消費者のニーズに応えるため、県名などを冠した「あきたこまち」のような銘柄米（ブランド米）の生産に力を入れ、農業産出額の過半数を米が占めるという、単作地帯としての特徴を持っています。
問9	答え 1 地点Z	東北地方の気候は地形の影響を強く受けます。日本海側（地点X）では冬の季節風の影響で降雪量が多くなり、太平洋側（地点Y）では台風や梅雨の影響で夏から秋にかけての降水量が多くなるのが一般的です。これらに対し、山々に囲まれた内陸部（地点Z）は、海からの湿った空気が入り込みにくいため、沿岸部の地点に比べて年間の降水量が少なくなるという特徴があります。